

配付資料7: 教会教育システム宗教教育者へのメッセージ

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード会長は、次のように述べています。



ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910–2008年）は、教会の教義を教えることについて、中央幹部の訓練集会で次のように語りました。「わたしたちはいくら注意してもしすぎることはありません。わたしたちは〔道を〕それないように気をつけなければなりません」〔中央幹部訓練集会，ソルトレーク・シティー，1992年9月29日〕。……

21世紀にあって教会の教育を推し進める際に、教会の教育者は、大切な若人の人生に揺るぎない信仰を築くには、いかに準備し、どのように教え、何を教えるかについて、変えるべき点を考慮する必要があります。

生徒が質問をし、教師が「それについては心配しないでください」と答える時代は終わりました。教会を攻撃する人々から生徒が守られる時代は終わりました。

幸いにも主は、時宜にかなない、時代を超越した次のような勧告を教師に与えておられます。「また、すべてが信仰を持っているわけではないので、あなたがたは知恵の言葉を熱心に求め、互いに教え合いなさい。まことに、最良の書物から知恵の言葉を探し求め、研究によって、また信仰によって学問を求めなさい。」〔教義と聖約88：118〕

これは特に現代に当てはまります。なぜなら、わたしたちの生徒が皆、前途に待ち受けているチャレンジに立ち向かうために必要な信仰があるわけではなく、その多くはすでに、インターネットによって、信仰と家族と福音の標準に敵意を抱く世俗化の進む、世を腐敗させる力にさらされているからです。インターネットは全世界のほとんどすべての家庭に入り込んでおり、わたしたちの生徒の手と思いに影響を及ぼしています。……

ハロルド・B・リー大管長（1899–1973年）は次のように述べています。

「皆さんに念を押します。信仰によって知識を得るのは生易しいことではありません。地道な努力、また信仰による懸命な努力が求められます。」[Harold B. Lee, in Clyde J. Williams, ed., *The Teachings of Harold B. Lee* (1996), 331]…

信仰による知識は、純粋な証を生み出します。そして、……純粋な証には人生を変える力があります。（「研究によって、また信仰によって」『リアホナ』2016年12月号，28–29）

話し合いのための質問

- わたしたちの話し合いが、教会の中核をなす教義と原則との調和を保つことは、なぜそれほど大切なのでしょうか。
- ほかに人から尋ねられる難しい質問を避けるとき、信仰はどのように弱まるでしょうか。
- 「研究によって、また信仰によって」福音を学ぶとはどういう意味でしょうか（教義と聖約88：118）。
- あなたがこれまでに、信仰によって学んだことが生活の中で「純粋な証」を生み出したと感じたのは、どのようなときでしたか（「研究によって、また信仰によって」29）。

末日聖徒

イエス・キリスト
教会